

走島町まちづくり計画

～みんなが輝けるまちづくりをめざして～



2016年(平成28年)10月
走島町まちづくり推進委員会

目 次

1. 走島町の概要	1
2. 走島町のまちづくりの基本理念	3
3. 走島町の現状と課題	4
4. 走島町地域まちづくり計画事業の内容	5
5. 走島町まちづくり基本方針	6
6. 走島町地域まちづくり計画の推進体制	7



1. 走島町の概要

走島町は福山市の南端・鞆町の南東6 kmに浮かぶ、周囲7.8 kmの島です。美しい景観と新鮮な海の幸のある風光明媚な島として、釣りや海水浴を目的に多くの方が島外から訪れます。2012年(平成24年)4月から定期便がフェリーになり車での来島も可能となりました。



島の東部の唐船地区には室町時代に勘合船が停泊した地だと伝えられています。その昔、この島は大陸との貿易の要所となっていたのでしょうか。この地区の沖合は、千軒海没地と呼ばれています。ここには室町時代に商船の寄港地と



して栄えていた町があったのですが、大地震と津波によって海の底に沈んだと言われています。千軒もの町並みが、静かに海底に眠る場所。海が今よりもずっと透明だった昭和初期ごろは、海面に眠る石灯籠や狛犬が見えたと言われています。

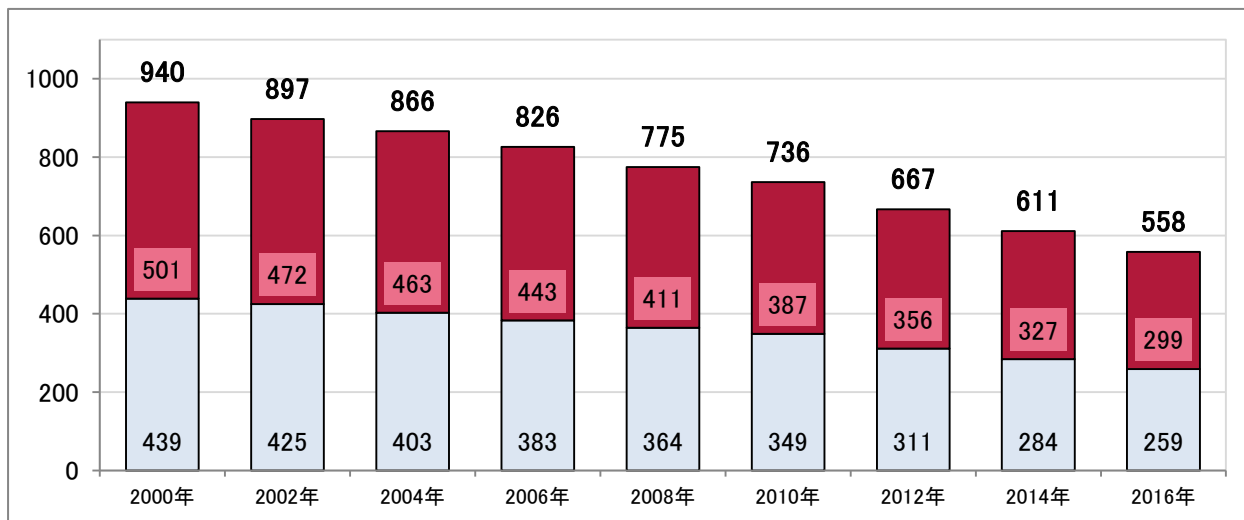
島の祖先が走島に足を踏み入れたのは元和8年(1622年)ごろと言われています。古くから島民の産業は漁業で生活を営んできました。ですが、昨今漁業をする若者が島外に出ていき、漁獲量も低迷し、漁業一本で生計を立てている軒数も減少しています。

少子高齢化が急激に進行する中、走島町まちづくり推進員会では、地域住民とさらなる交流を深め、文化や歴史の保存を守り伝えて行き、ふれあいと交流、地域の活性化をめざした活動の展開をしていきます。

更に安心・安全で快適な生活を送る環境づくりには、地域で安心して暮らし続けるために一人ひとりが防犯・防災等の備えをしっかりと行うことが大切です。地域の連携はもちろん情報発信等にも努めます。「地域まちづくり計画」に基づき事業に取り組んでいきます。

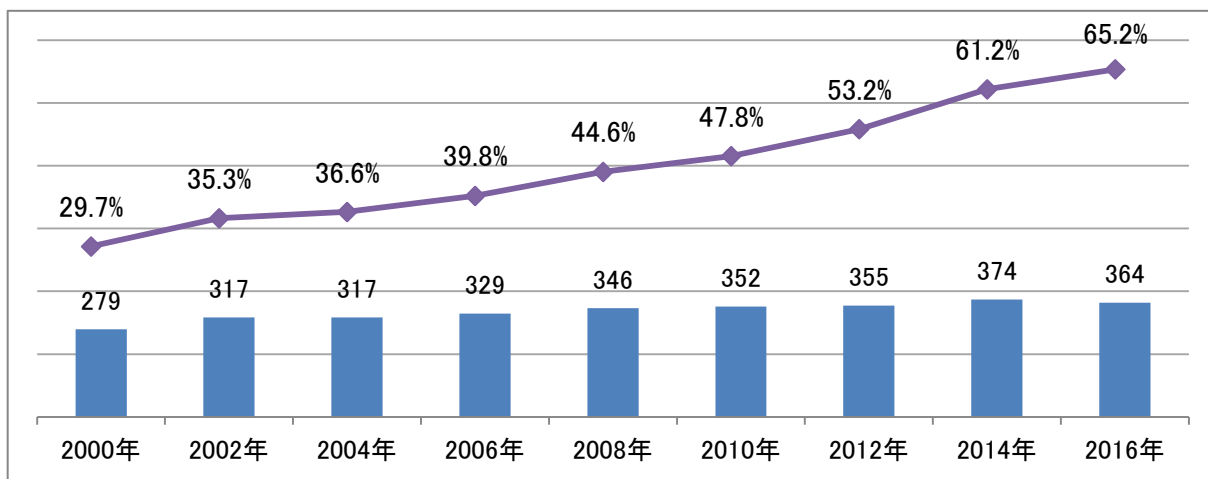


人口について



	2000年	2002年	2004年	2006年	2008年	2010年	2012年	2014年	2016年
女性	501人	472人	463人	443人	411人	387人	356人	327人	299人
男性	439人	425人	403人	383人	364人	349人	311人	284人	259人
合計	940人	897人	866人	826人	775人	736人	667人	611人	558人

高齢化率について



	2000年	2002年	2004年	2006年	2008年	2010年	2012年	2014年	2016年
高齢化率	29.7%	35.3%	36.6%	39.8%	44.6%	47.8%	53.2%	61.2%	65.2%
65歳以上の高齢者数	279人	317人	317人	329人	346人	352人	355人	374人	364人

2. 走島町のまちづくりの基本理念

福山市が2006年(平成18年)に、市制施行100周年に向けた新たなまちづくりの指針として第四次福山市総合計画基本構想を政策し、「福山市協働のまちづくり推進事業」がスタートしました。走島町は、まちづくりの基本理念と後期基本計画」2012年度(平成24年度)から2016年度(平成28年度)に従い、走島の文化の継承や歴史の保存に向けて、一人ひとりが大切にされた住民主体のまちづくりを推進します。

明るく住みよいまちづくりを目指して、「人権文化が根付いた地域社会」の実現に向けた取り組みを推進していきます。

地域住民のふれあいや交流をすることで、地域のつながりや連携を基底に安心して暮らしていけるまちづくりを目指します。



3. 走島町の現状と課題

- ・人口の構成は少子高齢化により子どもが少なく、高齢者が人口の半数以上を占めている。
- ・医療面では、無医地域のため島外から、診療所に診察に来ていますが、来島は週1回のペースのため、急病が出たときの対応が不安。
- ・福祉面では、高齢者が安心して介護を受ける福祉サービスの施設が無い。
- ・安全面では、本土と島を結ぶ交通機関がフェリー化となり、車の往来も多くなったので早急な道路の整備が必要。また、災害が発生した場合、高齢者だけで避難できない世帯の把握や、各自どこに避難するかを日ごろから確認しておく必要があります。

若い世代が島外へ出て行き若年層が少ないため、安心安全で快適な生活環境で、高齢者が安心して生涯この島に住み続けるためには、隣近所で互いに助け合い、見守り合い、地域の座談会や集会所、公民館の事業に進んで参加し交流を深めることで情報等を得ることも大切なことなので工夫が必要です。



4. 走島町地域まちづくり計画事業の内容

分野	事業名	事業内容
健康・福祉	ふれあい広場 (生きがいづくり)	<ul style="list-style-type: none"> ・料理教室 ・お菓子作り ・ゴキブリ団子 ・手作り講座
	スポーツの推奨	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドゴルフ ・カローリング
	老人ふれあい祭	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会
教育・文化	町民体育祭	<ul style="list-style-type: none"> ・体育祭
	盆踊り大会	<ul style="list-style-type: none"> ・盆踊り
	伝統芸能の継承	<ul style="list-style-type: none"> ・伝承太鼓の育成
	史跡保全事業	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡の清掃
活力・人材育成	地域活性イベント (地産地消の推進事業)	<ul style="list-style-type: none"> ・春の漁業祭 ・地産地消市
環境・美化	清掃	<ul style="list-style-type: none"> ・一斉清掃 ・ごみ分別
安心・安全	災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練 ・防災研修会 ・放送設備の整備

5. 走島町まちづくり基本方針

まちづくり推進委員会が行っている主なまちづくり事業は、盆踊り大会、老人ふれあい祭、安心・安全、歴史や文化の伝承保存、地産地消、学びの広場との絆を大切にしたい取り組みをします。

走島町の目標

(1) 安心・安全の分野

安心・安全な生活環境づくりのために、改善が必要とする箇所の整備、少子高齢化が進むなか走島では半数以上が高齢者のため、高齢者が安心して暮らせる地域づくりの実現を図るとともに、みんなで支えあい明るい住みよいまちづくりを目指します。

(2) 歴史・文化の分野

歴代の先人たちが築いた歴史や文化を大切に見直し、後世に継承していくこととともに、地域文化の創造に向けた取り組みを進め、郷土を愛する人たちに島の歴史を掘り起こし、活気ある走島の未来に向けた地域づくりを進めます。

(3) 環境の分野

風光明媚で穏やかな走島、島外から来島者が来て良かったといえるまちづくりの取り組みを目指して、住民全体で環境美化整備活動の対策を考え実践してまいります。

(4) 産業分野

産業の漁獲高が低迷している今日であるが、資源の活用、今日までの漁法のままでは消滅していくことになる。この状況をいかに活気ある魚島に取り戻すための検討と対策をする。イベントなどを通して、島内外からの参加者同士の交流を深め産業に活気ある地域づくりを進めます。

6. 走島町地域まちづくり計画の推進体制

課題解決に向けた取り組み、走島町まちづくり推進委員会及び走島町自治会連合会を中心に推進します。

主な主要事業「春の漁業祭・盆踊り大会・老人ふれあい祭・町民運動会」等の事業を推進します。

(1) まちづくり推進委員会の組織・所属団体

まちづくり推進委員会

総務部会(事務局・会計・監査)

走島町自治会連合会, 福祉を高める会, 公民館

健康福祉部会

福祉を高める会, 老人会, 民生児童委員会, ひまわり会

教育部会

盆踊り委員会, 太鼓保存会, 体育会, 走島町人権学習推進協議会

活力部会

走島漁業協同組合

環境部会

公衆衛生推進委員会, ボランティアの会

安心・安全部会

自主防災組織委員会, 消防団走島分団, 走島女性会

